

### アーチェリー世界ユース準優勝

八幡 遥真さん (魚津工業高校3年・西小路)

8月にポーランドで行われた世界ユース選手権17歳以下の混合団体で準優勝の成績を収められました。

遥真さんの今後の活躍に期待します。



### 黒部峡谷「ノルディックウォーク」を終えて

館長 前田 俊雄

市内、県内、国内の新型コロナウイルス感染拡大(第5波)が急激に収まり始めた、11月2日(火)朝8時40分「萩生の館」に集合、参加者15名が揃って、黒部峡谷鉄道宇奈月駅へジャンボタクシーで出発、まぶしい朝陽が歓迎してくれました。

各自、身分証明書などを提示後、トロッコ電車に揺られること約1時間、樺平駅に到着。

講師 村田あゆみ先生の指導のもと入念なストレッチ体操で体をほぐし、いざ、ウォーク開始。途中、休憩を挟み、心地良い汗をかきながら、木々の紅葉、エメラルドグリーン清流、澄んだ空気に力をもらい目的地の祖母谷に到着、全員が達成・満足感と硫黄の匂いの湯煙の中、楽しい昼食を終え、帰り支度に入る。

帰路は、天候が怪しくなり、電車時刻も迫り慌ただしく駆け下り、宇奈月温泉街の総湯「湯めどころ宇奈月」を集合地点に各自が自由散策(セレネ美術館、お土産買い、足湯等)を楽しみ、参加者全員が怪我・事故もなく、予定通り「萩生の館」に到着、充実した爽快感での秋の一日に感謝し、解散する。



### 祝 成人

このたび21名のみなさんが成人式を迎えられます。みなさんの今後の活躍を期待しております。公民館では、式典時に撮影した記念写真を贈呈いたします。



第78号

令和4年1月1日 発行  
平成8年1月10日 創刊

萩生公民館  
萩生地区社会福祉協議会  
萩生自治振興会



### 半永久的な安全・安心の願いを込め 『忠魂碑改修』

萩生自治振興会長 松島 春男

八幡社境内に隣接する萩生の「忠魂碑」は、日露戦争の戦没者12名の慰霊碑として、大正6年/1917年に、先の「征清記念碑」(明治37年7月/1906年建設)と併設する形で建立されました。

今日まで、大きな災害もなく104年の歳月で、石積みの隙間からは雑木が生い茂り、石積みの一部の落下や周辺の樹木も巨大化し根が入っている状況から、2016年ごろより安全性が指摘されていました。

2018年より改修費用の積立を開始。しかし、工事着手が2025年以降になる事から、昨年8月に「忠魂碑改修委員会」を立ち上げ、多岐に渡る協議を経て、今年4月の総会で承認をいただきました。

改修工事が無事7月末に完了し、除幕式の式典を9月5日に開催しました。

萩生のシンボルの一つとして、半永久的な安全・安心な形で後世に引き継がれることを祈願します。

一方、2年前より忠魂碑を含め鳥居から南側のエリアを、振興会で維持管理することで取組んでいます。今後ともご理解とご協力の程宜しくお願い致します。



元の忠魂碑状態：2020年5月撮影



雑草・雑木撤去後：2020年12月撮影



忠魂碑改修式典：2021年9月5日

### 《改修後の忠魂碑寸法》

- 総高：5m (改修前：8.7m)
- 石碑：3m (7.5t)
- 台石：1.4m (12t)
- 台座：0.6m (9m x 4.5m)

目で見える“館”の行事(9月~12月)

① 寄せ植え教室 9/16(木)



多肉植物の寄せ植え

② 交通安全 事故無し(梨)配布 9/28(火)



③ ちぎり絵教室 10/5(火)



「招福の寅」

④ 交通安全教室



放課後子ども教室 10/13(水)



アロマワックスプレート作り

⑤ 公民館まつり 10/23-24(土・日)



⑥ 元気アップ教室 11/1(月)



⑦ 黒部峡谷 DE ノルディックウォーク 11/2(火)



⑧ 放課後子ども教室 11/9(火)



脳トレクイズ

⑨ 手芸教室 11/10(水)



クリスタルボタンカットの2wayマスクチエーン

⑩ 秋のまち歩き会 11/20(土)



⑪ 介護予防教室 男性料理教室 11/22(月)



⑫ 放課後子ども教室 11/24(水)



割り箸ピストル

⑬ 三世代交流料理教室 11/27(土)



ベジプロスでカレー作り

⑭ 配食サービス 12/1(水)



⑮ 伝統料理教室 12/4(土)



・押し寿司  
・伊達巻  
・さつまいもきんとん

⑯ 介護予防教室 12/7(火)



X'masの寄せ植え教室

⑰ 放課後子ども教室 12/7(火)



ミニX'masツリー作り

見守る人と見守る機器

荻生地区民生委員児童委員協議会

一人暮らし、高齢者夫婦のみの世帯、障がいのある方、児童が安心して暮らせる地域社会を目指し2018年に黒部市社会福祉協議会がくろベネット推進3か年計画をたて2020年度末で終了しました。

荻生地区がこの3年間の推進モデル地区に指定され、振興会、町内会、各種団体を交えた専門職の講師の説明会、検討会が数多く開催されました。

その結果、振興会、町内会、地区社協、地区住民と民生委員児童委員との情報共有が拡大した事を実感しました。

2025年(令和7年)には戦後の団塊世代の方が75歳の後期高齢者になられ、一人暮らし、高齢者夫婦のみ世帯の増加が見込まれ、ますます見守り活動が必要になると考えられます。

\* 見守る人

- 家族、町内会、民生委員児童委員との密接な関係
- 家族(日常における安否確認~町内会~民生委員児童委員)
- 町内会(情報の収集~民生委員児童委員)
- 民生委員児童委員(情報に基づく関係機関へのつなぎ)

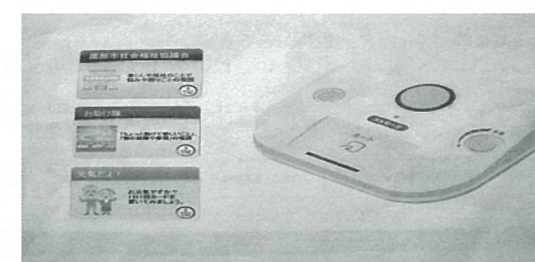


訪問相談連絡用紙(実施中)

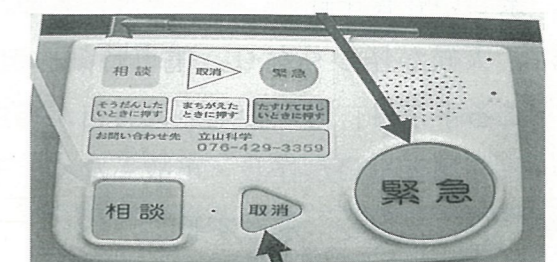


訪問相談連絡用紙(実施中)

\* 見守る機器



くろベネットボタン ICT(情報通信機器) 【実証実験荻生終了】



通報装置(対象者は設置済)

\* 見守りは、常日頃のご近所の方々との挨拶から始まり、世間話、各町内行事の参加や付き合いで、親近感が深まり、お互いの助け合いが見守りにつながるのではないかと思います。

\* 荻生地区の皆様 誰もが安心して暮らせるよう、民生委員児童委員は今年も皆様のご意見、ご指導、ご協力を仰ぎながら見守り活動を行って参りますのでよろしくお願いいたします。